

27年度決算の概要



平成28年第3回区議会定例会で、27年度の決算が認定されました。一般会計を中心に概要をお知らせします。

【問合せ】財政課(本庁舎3階) ☎(5273)4049・FAX(3209)1178へ。

基本目標の達成に向けた主な取り組み

27年度は、20年度からの新宿区総合計画に基づく基本目標(まちづくり編6つ・区政運営編2つ)の達成のために策定した第二次実行計画(計画期間/24年度~27年度)の最終年度です。また、27年度予算を「将来にわたり安定した財政基盤を確立し、区民生活を支えるとともに、基本構想の実現に向けて、第二次実行計画を仕上げる予算」と位置付け、区政が直面する課題に積極的に取り組みました。27年度の主な取り組みは次のとおりです。

まちづくり編

目標1 区民が自治の主体として、考え、行動していけるまち

◎NPOをはじめ地域を支える社会活動団体のネットワークの拡充と情報提供(5,734万円)

目標2 だれもが人として尊重され、自分らしく成長していけるまち

◎私立認可保育所の整備支援(25億9,821万2千円)
◎情緒障害等通級指導学級の設置(4,510万8千円)
◎女性の健康支援(1,787万5千円)

目標3 安全で安心な、質の高い暮らしを実感できるまち

◎地域密着型サービスの整備(1億4,330万7千円)
◎精神障害者支援施設の設置促進(6,313万1千円)
◎建築物等耐震化支援事業(5億8,342万1千円)
◎道路の無電柱化整備(3億1,916万9千円)

目標4 持続可能な都市と環境を創造するまち

◎資源回収の推進(8億608万6千円)
◎新宿駅東西自由通路の整備(6億1,528万6千円)
◎都市計画道路等の整備(7億3,699万5千円)

目標5 まちの記憶を活かした美しい新宿を創造するまち

◎地区計画等のまちづくりルールの策定(4,125万円)
◎文化の薫る道づくり(410万4千円)

目標6 多様なライフスタイルが交流し、「新宿らしさ」を創造していくまち

◎(仮称)「漱石山房」記念館の整備(2億9,648万円)
◎セントラルロード等の道路の整備(1億6,153万4千円)

区政運営編

目標1 好感度一番の区役所の実現

◎全庁情報システムの統合推進(8,146万4千円)

目標2 公共サービスのあり方の見直し

◎中央図書館移転後の活用(1億3,914万8千円)

「新宿区の財政について」冊子にまとめました

区財政の現状と課題を区民の皆さんにお知らせし、今後の財政運営の議論に活用していただけるよう、冊子を作成しました。

財政課・特別出張所・区政情報センター(本庁舎1階)で配布しているほか、区立図書館で閲覧できます。新宿区ホームページでもご覧いただけます。



財政収支

●一般会計・特別会計の財政収支(下表1~3)

27年度は、保育委託費や障害者自立支援給付などの扶助費が増となったものの、雇用・所得環境等の改善や地方消費税率の引上げによる影響の平年度化に伴い、特別区民税や地方消費税交付金などの一般財源が増となり、実質単年度収支は3年連続の黒字となりました。

りました。

しかし、経常収支比率は、26年度に比べて2.2ポイント改善したものの、依然として適正水準(70%~80%)を超える81.7%となっており、財政構造が硬化していることを示しています。

表1 一般会計の財政収支(△は減)

項目	27年度	26年度	増減
歳入総額 A	1,437億945万5千円	1,391億585万3千円	46億360万2千円
うち特別区税	434億3,369万3千円	424億1,503万7千円	10億1,865万6千円
うち特別区交付金	292億872万5千円	299億3,226万8千円	△7億2,354万3千円
歳出総額 B	1,393億9,174万7千円	1,350億8,866万円	43億308万7千円
形式収支(A-B) C	43億1,770万8千円	40億1,719万3千円	3億51万5千円
翌年度に繰り越すべき財源 ※1 D	7,287万8千円	1億7,188万8千円	△9,901万円
実質収支(C-D) E	42億4,483万円	38億4,530万5千円	3億9,952万5千円
単年度収支 ※2 F	3億9,952万5千円	5億8,097万8千円	
積立金 G	22億8,476万5千円	19億8,742万6千円	2億9,733万9千円
積立金取り崩し額 H	0円	10億円	△10億円
実質単年度収支(F+G-H) ※3 I	26億8,429万円	15億6,840万4千円	
経常収支比率 ※4 J	81.7%	83.9%	△2.2ポイント

※1 明許繰越分(事業が終了せず翌年度に繰り越す事業費)

※2 実質収支から前年度の実質収支を差し引いた額

※3 実質収支から基金の取り崩しと積み立ての影響額と前年度の実質収支を除いたもの

※4 区税などの経常的な収入が、人件費や施設の維持などの経常的支出にどれだけ充てられたかを示す比率

表2 一般会計の性質別経費(△は減)

区分	27年度		26年度		対前年比	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
義務的経費	732億円	52.5%	735億円	54.4%	△3億円	△0.4%
投資的経費	145億円	10.4%	126億円	9.3%	19億円	15.0%
その他経費	517億円	37.1%	490億円	36.3%	27億円	5.5%
合計	1,394億円	100%	1,351億円	100%	43億円	3.2%

※表示単位未満を四捨五入しているため、数値が合わないことがあります。

表3 特別会計の財政収支(△は減)

区分	国民健康保険特別会計	介護保険特別会計	後期高齢者医療特別会計
歳入歳出予算現額	429億9,187万8千円	235億4,149万9千円	65億4,870万5千円
前年度比(増減率)	70億830万1千円(19.5%)	△6億4,807万8千円(△2.7%)	△5,936万4千円(△0.9%)
歳入決算額(収入率)	429億2,979万1千円(99.9%)	225億2,584万5千円(95.7%)	65億999万8千円(99.4%)
前年度比(増減率)	72億1,934万7千円(20.2%)	2億7,335万8千円(1.2%)	△2,196万8千円(△0.3%)
歳出決算額(執行率)	423億8,832万円(98.6%)	221億1,954万6千円(94.0%)	64億7,691万3千円(98.9%)
前年度比(増減率)	72億1,406万8千円(20.5%)	6億1,978万7千円(2.9%)	△1,424万4千円(△0.2%)

●基金・区債の現在高(右表4)

27年度末の基金現在高は、前年度と比較して、46億円増加し395億円となった一方、区営住宅や子ども園建物買収などにより、区債現在高(区の借金)は17年ぶりに増となり、220億円となりました。区財政を取り巻く財政環境が不透明な中で将来にわたり安定した財政基盤を確保するには、より一層効果的・効率的な財政運営が必要です。

表4 基金・区債の現在高

項目	27年度末	26年度末	増減額
基金現在高	395億円	349億円	46億円
区債現在高	220億円	203億円	17億円

健全化判断比率

自治体の財政状況を早期に把握し、破綻を防ぐことを目的に制定された「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」では、自治体財政の健全度を測る4つの指標(実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率)を定めています。

27年度決算では、4指標全てで国の定める基準(早期健全化基準)を下回り、区の財政が健全であることを示しています。

健全化判断比率

(単位:%)

区分	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
新宿区	—	—	△2.9	—
(参考) 早期健全化基準	11.25	16.25	25.0	350.0

※27年度決算は、全ての会計で実質収支が黒字となったため、実質赤字比率・連結実質赤字比率は算出されませんでした。また、区の借金の残高等よりも基金等区の将来負担額を解消する財源の方が多かったため、将来負担比率も算出されませんでした。